

公益財団法人いばらき腎臓財団

[法人の概要]

平成27年7月1日現在

代表者名	理事長 大河内 信弘(非常勤)	県所管部課	保健福祉部薬務課	
所在地	つくば市天久保2-1-1筑波大学附属病院C棟322-1	電話番号	029-858-3775	
ホームページURL	http://www.iba-jinzou.com/	E-mailアドレス	infoiba@iba-jinzou.com	
資本金(基本財産)	417,826	千円	設立年月日	平成元年12月14日
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額(千円)	出資比率
	1	茨城県	281,288	67.3%
	2	市町村	100,000	23.9%
	3	茨城県腎臓病患者連絡協議会	10,000	2.4%
	4			
	5			
その他	7団体6個人		26,538	6.4%
設立目的	臓器移植を普及啓発するとともに、慢性腎臓病予防の総合的な対策を図り、県民の健康、福祉の向上に寄与すること。			

[事業の概要]

(単位:千円)

事業名		平成24年度	平成25年度	平成26年度	内 容
事業1	移植推進事業	4,777	4,535	5,939	目的:臓器提供関係業務や提供者家族支援を円滑に行うため、医療機関関係者等を支援 内容:医療機関関係者や臓器提供家族支援員研修会の開催、臓器移植県民意識調査等
	全体事業に占める割合	38.6%	36.6%	42.3%	
事業2	普及・啓発事業	3,647	3,142	2,369	目的:臓器移植の推進及び慢性腎臓病の発病予防を図るための普及・啓発 内容:啓発資材作成やキャンペーンを行う経費、広報紙作成、学校等での学習会の開催等
	全体事業に占める割合	29.5%	25.3%	16.9%	
事業3	組織適合検査助成事業	271	221	270	目的:腎臓移植希望者に係る組織適合検査料の助成 内容:腎臓移植希望者の負担軽減を図るため組織適合検査費用の一部を助成
	全体事業に占める割合	2.2%	1.8%	1.9%	
その他事業	事業1~3以外	3,675	4,503	5,474	・慢性腎臓病予防事業 ・事務局運営・管理費 等
	全体事業に占める割合	29.7%	36.3%	39.0%	
全体事業		12,370	12,401	14,052	指定管理者
全体割合		100.0%	100.0%	100.0%	

＜ 公益財団法人いばらき腎臓財団 から県民のみなさまへ＞

公益財団法人いばらき腎臓財団は、「慢性腎臓病の予防事業」と「腎臓移植の普及推進」を2大柱に、県民の医療福祉の向上を目的とした活動を展開しております。

平成27年1月、県内3例目の脳死下による臓器提供が行われましたが、臓器移植待機者数に対し、本県の提供者数は圧倒的に少なく、充足された環境には至っていないのが現状です。一方、慢性腎臓病からの人工透析患者数は年々増加しており、今後ますます腎臓移植希望者数が増加することが予想されます。また、慢性腎臓病が悪化することによる腎不全は茨城県民の死亡要因の8位になっております。

これら本県の健康課題の解決に寄与できるよう、事業を充実させて参る所存でございますので、何卒ご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成28年2月 理事長 大河内 信弘

[経営状況] 公益財団法人いばらき腎臓財団 (単位:千円)

区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	増減数	増減理由
正味財産増減計算書	経常収益	11,497	12,553	14,041	1,488	
	基本財産運用益	5,389	5,402	5,468	66	
	事業収益	0	0	0	0	
	受取補助金等	300	555	1,630	1,075	(公社)臓器移植NW補助金
	その他収益	5,808	6,596	6,943	347	
	経常費用	12,370	12,401	14,052	1,651	
	事業費	8,735	8,288	10,647	2,359	
	管理費	3,635	4,113	3,405	△ 708	
	うち役員人件費	0	2,499	2,688	189	
	うち職員人件費	6,654	4,424	3,004	△ 1,420	職員の退職
	評価損益等	0	0	0	0	
	経常増減額	△ 873	152	△ 11	△ 163	
	経常外収益	0	0	0	0	
	経常外費用	0	0	0	0	
経常外増減額	0	0	0	0		
法人税・住民税・事業税	0	0	0	0		
一般正味財産増減額	△ 873	152	△ 11	△ 163		
指定正味財産増減額	0	0	0	0		
正味財産期末残高	426,048	426,200	426,189	△ 11		
貸借対照表	資産合計	426,271	426,429	426,682	253	
	流動資産	8,376	8,383	8,744	361	
	固定資産	417,895	418,046	417,938	△ 108	
	負債合計	223	229	493	264	
	流動負債	223	229	277	48	
	うち短期借入金	0	0	0	0	
	固定負債	0	0	216	216	
	うち長期借入金	0	0	0	0	
正味財産合計	426,048	426,200	426,189	△ 11		
基本財産充当額	417,826	417,826	417,826	0		
県財政関与状況	補助金	0	0	0	0	
	委託料	0	0	0	0	
	貸付金	0	0	0	0	
	その他(分担金・負担金・出捐金等)	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	
	財政的関与の割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	損失補償・債務保証契約に係る債務残高(期末)	0	0	0	0	
	借入金残高(期末)	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0		

主要経営指標	算式等	平成24年度	平成25年度	平成26年度	増減P	備考
公益目的事業比率	認定法第15条に定める率					
管理費比率	管理費/経常費用	29.4%	33.2%	24.2%	△ 8.9	
人件費比率	人件費/経常費用	53.8%	55.8%	50.2%	△ 5.6	
自己収益比率	自己収益額/経常収益	53.1%	57.0%	61.1%	4.1	
流動比率	流動資産/流動負債	3756.1%	3660.7%	3156.7%	△ 504.0	
借入金比率	借入金残高/負債・正味財産合計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	

[組織]

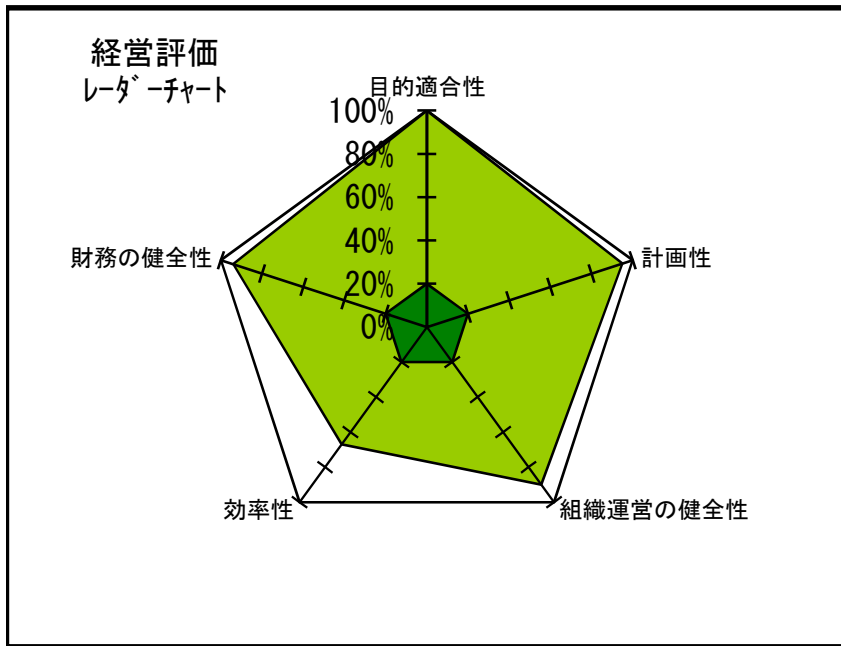
7月1日現在の人数		平成25年		平成26年		平成27年		増減数	増減理由	
		県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB			
役員	常勤理事・監事	1	0	0	1	0	0	0		
	非常勤理事・監事	18	2	0	8	0	0	0		
	計	19	2	0	9	0	0	0		
職員	管理職	0	0	0	0	0	0	0		
	一般職	1	0	0	1	0	0	0		
	嘱託・臨時職員等	0	0	0	3	0	0	2	雇用形態の見直し	
	計	1	0	0	4	0	0	3	△ 1	
当期	プロパー職員平均勤続年数	0.3年	常勤職員(嘱託・臨時職員を除く)の年齢構成						平均年齢	常勤役員平均報酬(年額)
			~20代	30代	40代	50代	60代	合計		1名のため個人情報となる報酬は非公開 千円
			0	1	0	0	0	1	39.0歳	プロパー職員平均給与(年額)
										1名のため個人情報となる給与は非公開 千円

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	9	20	20	100%
計画性	8	19	20	95%
組織運営健全性	10	18	20	90%
効率性	10	12	18	67%
財務健全性	9	16	17	94%
合計	46	85	95	89%

公益財団法人いばらき腎臓財団

警戒指標



《評価の視点》

目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか
財務健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか

[法人の自己評価（経営概況、経営上の課題・対策等）]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
臓器移植推進の普及・啓発事業と慢性腎臓病対策事業を柱として、県民福祉の向上に努めている。	更なる自主財源の確保と事業活動の充実を図るため、年度毎の取り組むべき項目や数値目標を定めた、中期運営計画を策定し、これに沿った事業運営に努めている。	経営のノウハウに精通した民間人を常勤役員に登用し、組織体制の強化を図っている。 また、会計の専門家が財務に関与している。	県補助金や借入金に依存することなく、自己収入比率の増加に努めており、限られた人員の中で、事業拡充に努めている。	平成21年度より開始した賛助会員数は年々増加しており、盤石な財政基盤確保のために、今後も会員確保に努めていく。
今後の事業展開の方向	移植医療の情報を発信することにより、県民の移植医療への理解を深め、臓器提供者の増加に繋げていくとともに、透析患者数減少に繋がる慢性腎臓病対策事業も展開して、なお一層県民の福祉向上に寄与していく。			

[法人担当課の意見]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
臓器移植推進の普及啓発事業と慢性腎臓病対策事業を柱として、専門的な医療従事者等関係者と連携を取りながら、県民福祉の向上に努めており、目的に適合している。	中期運営計画を策定して、事業活動の充実と自主財源の一層の確保について年度毎の取組項目や数値目標を定めており、これに沿った事業推進を図っている。	常勤役員を登用して組織体制を強化し、会計の専門家による財務関与を確保するなど、健全に組織運営している。 また、法人ホームページで適宜適切な情報公開を行っている。	県補助金や借入金に依存することなく、自己収入比率の増加に努めており、限られた人員による効率的に事業推進を図っている。	法人の努力により、賛助会員数は年々増加しており、さらなる推進に努めている。 また、収入の範囲で事業を推進しており、財務は健全である。
<p>法人担当課の意見</p> <p>法人は、自主財源確保のため賛助会員制度等の拡充・推進を行うとともに、平成25年度には常勤役員を設置して組織基盤を強化し、意欲的に事業推進している。また、中期運営計画を定めて、これに沿った事業展開を図っており、平成26年度からは公益財団法人に移行し、自主性・自立性を高めている。今後も弛緩することなく一層の事業推進を図るよう支援していく。</p>				

[経営目標]

区分	指標名	単位	H24実績	H25実績	H26目標値	H26実績	達成度(%)	H27目標値
事業成果	1 いのちの学習会	回	14	16	20	20	100.0%	24
	2 臓器提供意思表示記載率	枚・%	30,103枚	36,153枚	13.0	18.0	100.0%	16.0
健全性	1 無借入金制度	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%	100.0
	2 正味財産増減額	千円	△ 873	152	0	△ 11	99.9%	0
効率性	1 自己収入比率	%	53.0	57.0	55.0	57.0	100.0%	57.0
	2 無補助金度	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%	100.0
平均目標達成度							100.0%	

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
	概ね良好	改善の余地あり	改善措置が必要	緊急の改善措置が必要	
総合的所見等	<p>臓器移植の推進のための諸事業を実施し、臓器提供者（平成26年度2件）の増加に繋げる事業を安定して実施されたい。 そのためにも、自主財源確保は重要であり、賛助会員の拡充、寄付金の募集など財務の健全化への取組みを継続して実施されたい。</p>				
総合的所見等に係る対応	<p>法人は、新たに「募金箱」を作成して医師会はじめ数多くの機関に設置協力を依頼するなど、自主財源のさらなる確保に努めており、これらを活用した臓器移植の普及啓発事業等の円滑な実施を推進している。 県としては、今後とも県民の健康・福祉の向上に寄与する事業の計画的な推進が図れるよう、法人を支援していく。</p>				